

時の詩人



アーサー・ビナードがバツサリ切る “ダムのひとつ覚え”

～ハッ場も原発も根っこは同じ～

2011年11月23日（水・祝）

13:30～16:00（開場：13:00）

会場：学士会館 210号室

東京都千代田区神田錦町3-28

TEL. 03-3292-5936

◇地下鉄「神保町」駅より徒歩1分

（裏面に地図）



参加費：500円

2009年の政権交代で一躍注目を浴びたハッ場（やんば）ダム。その本体着工の是非をめぐり、いよいよ政治判断の時が迫っています。去る9月、ハッ場ダム事業を進めてきた国土交通省関東地方整備局が、「検証の結果、ハッ場ダムは利水・治水の上でベストという結果が出た」と発表しました。テレビや新聞で一斉にニュースが報道された直後、ラジオ番組でこの検証結果を痛烈に批判したのが、“時の詩人”アーサー・ビナードさんでした。

ハッ場ダム計画は構想から間もなく60年を迎えます。ダムの恩恵を受けるとされる利根川流域の住民も、巨額の事業費を負担している国民も、ハッ場ダム事業の実態をほとんど知らされていません。こうした構図は、悲惨な事故が起こるまで、ほとんどの国民が実態を知らなかった原発問題と驚くほどよく似ています。今回はアーサー・ビナードさんの講演と専門家の解説、若い世代も交えてのトークを通じてハッ場ダムをめぐる状況、ダム問題の真実を探ります。

アーサー・ビナード氏：詩人

しまづてるゆき

嶋津暉之：水問題研究家

森明香：一橋大学院生

川原理子：ハッ場あしたの会会員

- ◆主催 ハッ場あしたの会
群馬県前橋市古市町419-23
Tel&Fax/027-253-6706 携帯/090-4612-7073
メール/info@yamba-net.org

- ◆協力 パタゴニア日本支社
アウトドア自然保護基金





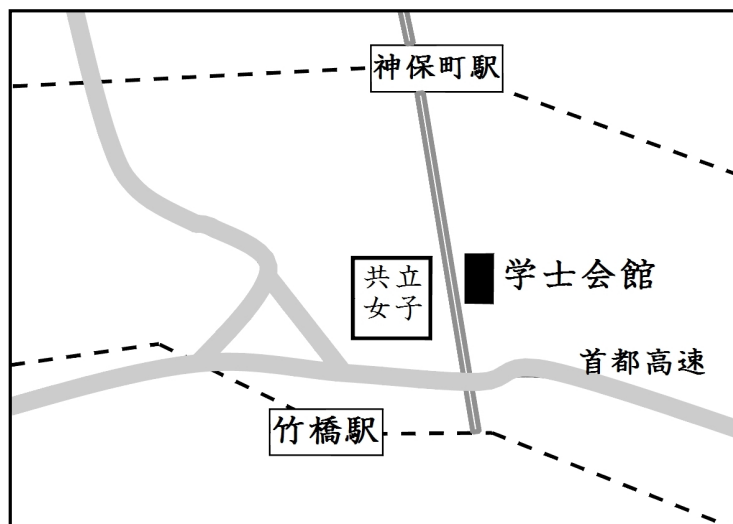
アーサー・ビナード (Arthur Binard) さんのプロフィール

1967年、米国ミシガン州生まれ。ニューヨーク州のコルゲート大学で英米文学を学び、卒業と同時に来日、日本語での詩作を始める。2001年に詩集『釣り上げては』(思潮社)で中原中也賞、05年に『日本語ぽこりぽこり』(小学館)で講談社エッセイ賞、07年に『ここが家だ——ベン・シャーン の第五福竜丸』(集英社)で日本絵本賞、08年には『左右の安全』(集英社)で山本健吉文学賞を受賞。

詩集に『ゴミの日』(理論社)、訳詩集に『日本の名詩、英語でおどる』(みすず書房)、エッセイ集に『日々の非常口』(新潮文庫)、『出世ミミズ』『空からきた魚』(ともに集英社文庫)、絵本に『くうきのかお』(福音館書店)、『はらのなかのはらっぱで』(フレーベル館)、翻訳絵本には『ダンデライオン』『どんなきぶん?』(ともに福音館書店)、『あつまるアニマル』(講談社)、『カエルもヒキガエルもうたえる』(長崎出版)、『ほんとうのサーカス』(BL出版)などがある。文化放送と青森放送でラジオ・パーソナリティーもつとめる。



学士会館地図



- ◇地下鉄都営三田線・新宿線、
東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 A9 出口 1分
- ◇東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 3a 出口から徒歩 5分